

本市議会の



質問内容 (議案外の質問に限ります)

本市の行政全般にかかわる事務の執行状況や将来の方針等への疑問や提案などです。

質問時間

答弁を含め、一人当たり60分以内です。

福祉

見守り協定事業のさらなる発展は

問

見守り協定事業は、民間事業者が日常業務の中で気付いた異変を市へ連絡することで、高齢者の安否確認等につながる、共創の取り組みであると考える。事業の開始から15年が経過しており、再構築が必要と考えるが、見直しの方向性は。

答

たいと考えている。見守り協定事業の仕組みをいかすことで、非常時の搜索等にも発展させることができるかと考えるがどうか。

問

本事業は、搜索や災害時の安否確認等、さまざまな取り組みに広がる可能性があると考えている。行方不明者の早期発見を図る、SOSネットワーク※との融合を含め、日常時と非常時を区別しない事業となるよう、取り組みを進めていく。

高齢者の移動支援

今後の取り組みは

問

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすためには、行政が積極的に支援策を講じ、移動が困難な方を支える仕組みづくりが必要と考える。高齢者の移動支援の今後の取り組みは。

答

市民が安全で円滑に移動できるよう、多様な手段を組み合わせた仕組みの構築が重要と認識しており、地域の実情に応じた移動支援に取り組んでいる。今後も、必要とする方がさまざまな移動手段を利用できるよう、市民ニーズを把握し、交通事業者や地域の福祉団体等との連携などに取り組んでいく。

健康・医療

慢性腎臓病の予防に向けて

問

6年度から実施している八王子血管まろうプログラム[※]の取り組みを聞きたい。

答



問

慢性腎臓病の発症と重症化を予防するため、前年度の特定健康診査の結果に応じ、腎臓の健康状態を評価する検査を実施し、保健師等の指導を行っている。また、悪化の速度を遅らせるため、専門医の受診にも結び付けている。

答

重症化の予防には、腎機能数値の推移を長期的に観察し、適時適切な働き掛けを行う必要があるのではないかと。今後、客観的なデータや指標により評価・検証を重ね、市民の健康寿命延伸に取り組むとともに、医療費の適正化を図っていく。

子育て支援

子育てナンバーワンのまちを目指して

問

意欲のある市民が、子育て家庭の支援に携わるための研修機会の充実等について、市の考えは。

答

研修の機会を増やすことは、人材の確保と支援の質向上に資する重要な取り組みと認識している。資格取得やスキル向上に向けた取り組みを進め、安定的かつ継続的な子育て支援サービスの提供を検討していく。

問

本市の子育て施策は充実していると考える。この内容を市外にも発信し、子育て世帯の転入を増やすことも目指してもらいたいと思うがどうか。

答

これまでも地域や関係機関と連携し、さまざまな子育て支援に取り組んできた。今後も、さらなる充実を図り、多くの方が本市で子どもを産み育て、暮らしたいと思える子育てナンバーワンのまちに向け、取り組んでいく。

